

くすのきだより西部 No. 5



発行日 2006年12月1日

水戸市立中央図書館 水戸市大町3-3-20 TEL 226-3951

東部図書館 水戸市元吉田町1973-27 TEL 248-4051

西部図書館 水戸市堀町2311-1 TEL 255-5651

見和図書館 水戸市見和2-500-2 TEL 350-2051

ホームページアドレス <http://www.library-mito.jp/>

携帯版 <http://www.library-mito.jp/mobile>

『親子で絵本』

赤ちゃんの7か月児健診後に（会場は水戸市保健センター）絵本をプレゼントしています。今年度に限り平成17年9月以降生まれの方も対象になります。交付を受けたい方は、裏面もご覧ください。

1992（平成4）年にイギリスのバーミンガムで、地域に生まれ成長するすべての赤ちゃんの幸せを願って、子どもたちに絵本を届けるために始まった取り組みのことを「Bookstart（ブックスタート）」といいます。これをモデルとして、水戸市でも2006（平成18）年10月27日から、水戸市に住むすべての赤ちゃんに絵本を届ける取り組み『親子で絵本』事業』を始めました。

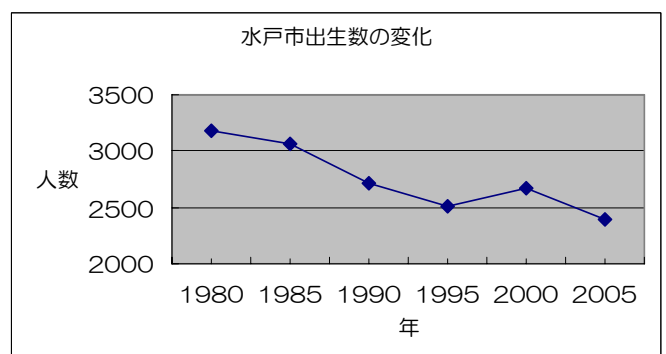
この取り組みは、7～8か月の乳児を対象とした健診の会場で行うことで、水戸市に住むすべての赤ちゃんとその保護者の皆様に、絵本の楽しさや言葉による働きかけの大切さを伝えることを目的としています。子育て中の方の中には「7か月の赤ちゃんに、絵本はまだ早いのでは？」という考えもあるようですが、赤ちゃんの体の成長のためには、ミルクが必要なように、心が成長するには、周囲の人々からの言葉によるやさしい働きかけが必要です。この働きかけをくりかえすことで、赤ちゃんは周囲の人と言葉で交流する方法を学び、心を育てていきます。絵本を読んであげることで、言葉による働きかけを誰もが気軽に行うことができます。7か月の赤ちゃんといえば、「人見知り」をはじめたり、「アーアー」と声を発したり、赤ちゃんが、自分から相手に意思表示をするようになる時期です。首がすわり、おすわりもできるようになり、身近なものに興味を示して、手をのばしたりするのもこの時期。身近に赤ちゃんがいらっしやったら、ぜひ絵本をそばに置いて、読んであげてください。きっと興味をもってくれると思います。

ブックスタートの活動について知ることができるホームページは

特定非営利活動法人ブックスタート <http://www.bookstart.net/>

Bookstart（英文）：<http://www.bookstart.co.uk/>

とはいえ、赤ちゃんと接する機会も少ないのも事実です。水戸市で発行している統計年報をみると、2005（平成17）年の水戸市の出生数は2394人。1980（昭和55）年から5年ごとに出生数を調べたところ、右のグラフのようになりました。『水戸市次世代育成支援対策行動計画』によると、2002（平成14）年の日本の合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に平均何人生む結果になるか計算したもの）は「1.32」。この数値も毎年低下しており、人口の減少による公的サ



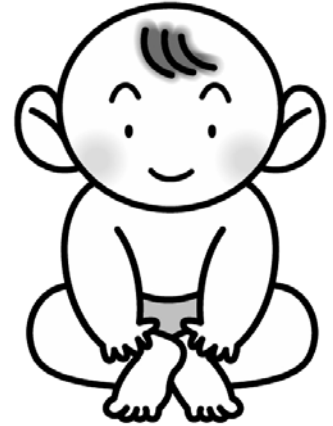
資料 『〔水戸市〕統計年報』

ービスの縮小や経済成長の停滞，人と人が交流する機会が失われるなどのマイナスの影響が懸念されています。この「少子化」の流れを変えるため，水戸市でも前述の計画に基づき，さまざまな少子対策，子育て支援に取り組んでいるところです。なぜ子供が減ったのか，将来日本はどうなるのかなど，少子化についても考えてみませんか？今回，少子化，子育てをキーワードに当館の資料を集めましたので，一部を紹介します。下記で紹介していない蔵書も含めた「少子化」「子育て」を知る本リストを西部図書館の蔵書検索端末で，ご覧いただくことができます。

絵本の交付を受けるには

水戸市保健センターで行われる，7～8か月児が対象の乳幼児健診会場へお越しください。乳幼児健診の日程は「健康カレンダー・みと」をご覧ください。絵本は，健診終了後『親子で絵本』会場でお渡しします。会場では，ボランティアのご協力により，絵本の読み聞かせなども行っています。上記の会場で乳幼児健診を受けない方や健診時に受け取っていない方は，母子健康手帳を持って，近くの水戸市立図書館受付へお越しください。7ヶ月を過ぎ，1歳になる前日までの赤ちゃんが対象になります。

また今年度（平成19年3月31日まで）に限り，平成17年9月1日以降に生まれた赤ちゃんは，1歳を過ぎても交付を受けることができます。



『ちいさなうさこちゃん』（ディック・ブルーナ作，福音館書店）
あるいは『じゃあじゃあびりびり』（まつのりこ作，偕成社）
どちらか1冊を差し上げます。



もっと，赤ちゃんと絵本を楽しみたい方は

「どんな本を選べばいいのかわからない」と迷ったときは，図書館員までご相談ください。赤ちゃんと読める本やそのリストは，各図書館に備えてあり，西部図書館では，児童室に子どもの本を選ぶためのガイドブックを揃えてあるコーナーもあります。また館内蔵書検索端末やホームページでもリストがご覧いただけます。

「少子化」「子育て」を知る本 西部図書館の蔵書より

『水戸市次世代育成支援対策行動計画』（水戸市発行 請求記号 G0369-ミ 所蔵館 西部，中央，東部，見和）

ほかにアンケートやニーズ調査結果の報告書もあります。

『少子化する高齢社会』（金子勇著，日本放送出版協会，2006年，請求記号 334.3 所蔵館 西部）

高齢社会と少子社会は連動した問題であると考え，解決策を論じた書。

『少子に挑む』（日本経済新聞社編集・発行，2005年，請求記号 334.3 所蔵館 西部，東部，見和）

日経新聞の連載記事を加筆修正したもの。さまざまな立場からの報告。

『うちの子よその子』（猪熊弘子著，婦人生活社，2001年，請求記号 379.9 所蔵館 西部）

子育ての日常でおきる疑問，経験をまとめたもの

『子育てに不安を感じる親たちへ』（牧野カツコ著，ミネルヴァ書房，2005年 請求記号 599 所蔵館 西部 中央）

今，子育てをしている親の考え方や地域の子育てのあり方